

① 大男
② 手足
③ 一生

④ てんくう
⑤ どんち

②
① イ
② イ
③ ア
(1 完答)

② ア
③ イ
④ 目
⑤ エ
⑥ ウ

③ カ
② ア
③ イ
④ オ
⑤ エ
⑥ ウ

④
① イ
② ダルマ

④ ア 2
③ イ
① イ
②
⑤ ウ 1

配 点	
①	各2点×5＝10点
②～④	各5点×18＝90点
<計>100点	

①「オ」が三つ続くがあわてずにことばをおもいうかべよう。②「足」の最後の二画を正しく書こう。③「生」には「セイ、シヨウ」という音読みのほかに多くの訓読みがある。④「天空」は大空のことである。⑤「土日」は土曜日と日曜日をまとめてよんだことばである。

② 1 すぐ前に「お父さんザウルスとお母さんザウルスは、かわるがわる巣のそばに座って」と書かれている。そうなるように、入ることばをえらぼう。

2 「いくらここが秘密の隠れがだといっても」と書かれているところである。お父さんザウルスとお母さんザウルスが卵を見張っているところである。

3 トガリネズミのすばしこいようすである。「ゾロゾロ」は多くのものが一続きになつてすすむようす、「チヨロチヨロ」は小さなものがすばしこく動きまわるようす、「ジロジロ」はえんりよせずにくりかえし見るようす、「ヨロヨロ」は足どりがしっかりせずたおれそうなようすである。

4 「眠い」ときに「こす」ところである。

5 「苦勞のかいあって」という言い方には、苦勞したことがむだにならなかった、苦勞してよかったという気持ちが入っている。ここで「苦勞」とは、すぐ前に書かれているように「いっしょうけんめいに卵を見張」ったことである。そのけっかとして、「卵は」「五つとも無事にかえ」ったのである。

6 巣の中で赤ちゃんの恐竜が「動きまわる」ようすである。「しくしく」は弱々しく泣き続けるようす、「めそめそ」は声を立てないで弱々しく泣くようす、「もぞもぞ」は落ち着きなく体を動かすようす、「ひらひら」は軽くてうすいものがひるがえりながら動くようすである。

③ ことわざには動物の名前や植物の名前のふくまれるものがたくさんあり、よくテストに出題される。

① 「ねこのてもかりたい」は、あまり役に立ちそうもないねこにも手伝ってほしいほど、いそがしいということ。

② 「いぬもあるけばぼうにあたる」にはいい意味と悪い意味がある。いいほうの意味だと、何かをしているうちに、思いがけない幸運に出会うこともある、となる。いっぼう、悪いほうの意味だと、何かをしようとすれば、思いがけない災難にあうことも多い、となる。

③ 「うまの耳にねんぶつ」は、人の意見や忠告をいかげんに聞き流して、少しも聞き入れようとしないことのとたとえとして用いられる。

④ 「月とすっぱん」は、一見にているようだが、じっさいにはちがいが大きすぎて比べられないことのとたとえとして用いられる。

⑤ 「とんびがたかをうむ」は、へいばんな親がすぐれた子を生むことのたとえとして用いられる。

⑥ 「へびにみこまれたかえる」は、おそろしさに体がすくんで動けないことのたとえとして用いられる。

④ 1 「ちがう種類になる」と書かれているので、二種類のかえるが登場するところにもどすとよいことがわかる。

2 ナゴヤダルマガエルとトウキョウダルマガエルという名前にふくまれていることばで、「(後ろ)あしが短」いこととかんけいがあるものである。

3 「コンクリートでできた側溝に一度落ちると、ジャンプ力が弱いためにのぼることができず」と書かれている。「コンクリート」でなく土のみぞであれば、一度のジャンプで出られなくても、とちゅうの土かべにつかまつのぼれるのだろう。ということは、みぞがコンクリートばかりになってしまったことが、「数を減らしている」原因なのである。

4 アについて。トノサマガエルではなく、ナゴヤダルマガエルやトウキョウダルマガエルである。イについて。メスではなく縄張りをめぐるケンカである。ウについて。「ジャンプ力はありません」のすぐうしろに「とぶ際に使う後ろあしが短く」と書かれている。